

海外ヘルスケア・ソーシャルイノベーター育成プログラム

講師：



原健太　ゼネラルマネージャー　株式会社AfricaScan

東京農業大学大学院修士課程(国際農業開発学)を卒業後、同大学にて助手として勤務。2014年にJICA青年海外協力隊として野菜を通じたヘルスプロモーションをサモア独立国に赴任。帰国後は、立命館大学にて、大学リサーチアドミニストレーター(URA)として知的財産管理、新規事業開発、プロジェクトマネジメントに従事。大阪大学・立命館大学リーンロンチパッドプログラム修了。同プログラムのメンターとして参画。東京大学ischoolアドバンスド・ファシリテータープログラム修了。現在は、ソーシャルマーケティングを行う『AfricaScan』のゼネラルマネージャーとして、ケニア・東アフリカの医療課題の解決や健康増進に尽力している。



イムソニョン　代表　イムシャ

韓国出身

ソウル国立大学音楽学部卒

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士課程修了

伝統音楽教師、大韓航空グランドスタッフ、千葉大学先進的マルチキャリア博士人材養成プログラム事務職、信州大学助教・UniversityResearchAdministratorを経て現職。信州大学では、国際学術推進制度策定、大型産学官連携研究プロジェクト、異分野研究ワークショップ、産学官コーディネーター向けワークショップ設計・実施、高校生向けデザイン思考と用いたイノベーション教育に従事。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科に入学する。外国人母親の主体的な社会参加を促すシステム構築をテーマに修士研究を行う。

ゲスト講師(予定) :



杉下 智彦 東京女子医科大学

1990年東北大学医学部を卒業。聖路加国際病院にて外科レジデント、チーフレジデントを経て、東北大学心臓外科医局にて心臓移植の研究。1995年から約3年間、青年海外協力隊に参加（マラウイ共和国）。国立ゾンバ病院の外科医長として活動。その後、ハーバード大学公衆衛生大学院（国際保健）、ロンドン大学大学院（医療人類学）に留学。2001年よりタンザニア共和国モロゴロ州保健行政強化プロジェクトのチーフ・アドバイザーとして約4年間活動。2006年よりJICA人間開発部課題アドバイザーとして保健システム案件の立案や技術支援を行う。2009年よりケニア国ニヤンザ州保健マネージメント強化プロジェクトのチーフ・アドバイザー。2011年よりケニア国公衆衛生省アドバイザーを兼任。2013年にケニアより帰国し、JICA国際協力専門員としてSDGsやUniversal Health Coverageなどのアジェンダ策定の国際委員などを務める。2016年10月より東京女子医科大学、国際環境・熱帯医学講座教授/講座主任に就任。日本国際保健医療学理事。世界ワクチン基金元技術審査委員。野口英世アフリカ賞医療活動部門選考委員など。2016年第44回医療功労賞受賞。



福吉潤 キャンサーズキャン 代表取締役社長

博士(医学)。慶應義塾大学総合政策学部卒業、ハーバード大学経営大学院修了（MBA） P&G Japanでブランドマネージャーとしてマーケティング/ブランドマネジメントを担当後ハーバードビジネススクールに進学。2008年7月ハーバードビジネススクール研究員として従事したのち2008年11月株式会社キャンサーズキャンを創業。慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 非常勤講師、厚生労働省がん対策推進企業アクション アドバイザリーボードメンバー。